

白玉サクラガササネ

成人向





解決したのは  
おそらく――



あの永遠の夜は  
いつの間にか  
明けてしまった





# 白玉サクラガサネ





いないって事に  
気付かなか  
ったの？  
鈍感ね

え……？  
いつもの  
事だと……

まさか今度  
こそ本当に

何時ぞやの  
人間の方がまだ  
マシだし……

すっすぐに  
探しに——  
別にいいわよ

妖夢じゃ  
頼りないしね  
私を  
置いて——

お前さん、  
お前さん、  
お前さん



で……  
でもっ!!

無理なの♪

今の貴方じゃ  
探せませんよ……  
顔に出てるわ

お前さん、  
お前さん、  
お前さん



”私は役に  
立ちません”  
って

だから……  
帰って来るまで  
ご主人のお客を  
もてなさない♡

ズキ

その程度は  
役に立てる  
でしょ？

あの……  
紫様……?

この状態じゃ  
何もできません  
よ

そんな事は  
ありません  
あなたにはマッ  
サージをしても  
らいます♡

ここの庭は  
広すぎていつも足  
が疲れてしまうわ

でも一体  
どうやって……

簡単な  
事よ

お・口・で

お願いできる  
かしら?

あらあら無知  
ねえ♡  
外ではどとつくす  
つて流行って  
いるのよ♡

な……っ!?  
そ……そんな  
事……!!

それともあなたは  
噂通りの役立たずの  
庭師なのかしら

ヒョヒョ

くっ下……少し蒸れてる……

これが紫様の  
匂い

むわあむわあ

やっ役立たずか  
どうかは今ごろら  
んにいられますっ



紫様の足…  
なんで  
キレイな……



柔らかい  
白い果実……

ト幽々子様  
のおみ足も

この様な



いつまでも  
舐めていたく  
なるような……

そうそう中々  
上手じゃない

役立たず  
というの撤回  
するわ

でも

こういう時に  
他人の事を考えて  
いるのは失礼な  
事よ

ましてや私の  
友人の事なんて  
……傷つくわ

悲しいわねえ  
私の事は無視？

ゆ……紫様……  
それは……っ



それじゃあ  
無理にでも振り向か  
せたくなるわ

あ...

いじじい  
辺.....?

それとも  
こっち?

鈍感な庭師さんの  
気持ちよくなる所は  
ドコかしら〜♪

いいえ  
ここね!

また  
ハズレ...w

んもう!!  
正解はど  
かしら〜♪

あらあら  
どうしたの?

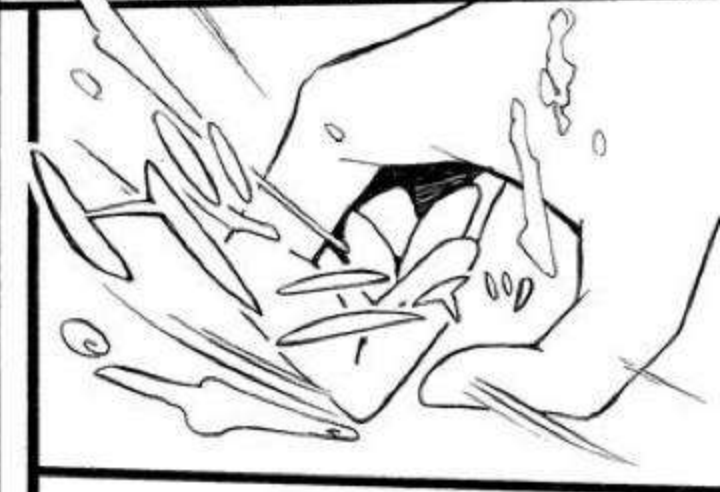






たま

良い顔色ね  
もうちよっと見て  
いたい気もする  
けれど――



鈍感というのも  
撤回かしら？

たあ

本当に鈍感  
なのはどちら  
なのかしらね？



ゆ…紫様…もう  
おやめ下さい……



けれど……  
貴方と  
あの子……



やっぱり私が  
相手では不服  
のようねえ

無理なんか  
しなくて  
結構です

でも少しは  
楽しませて  
もらったし

それは……  
その……っ

妖夢  
起きてよ

お礼に  
いい夢を見せて  
あげる

おはよう  
途中で寝ちゃう  
なんて酷いわ

ゆ……幽々子様!!  
あああ、あれ?!  
ゆっ紫様は……

んもう  
寝ぼけてないで早く  
目を醒ましてよ

幽々子様……  
私……また  
失態を……

いいのよ

ちゅ♡

よくあり  
ません……

「うううのは  
キライ？」

そっ……そうじゃ  
なくてですね……っ  
私……いつも足を  
ひっぱって――

へたー

んん

ばかり……！

ばかね

だからウチの  
庭師は

ちゅ♡

ポロクソに  
言われるのよ

あ

あ

あ

んん♡

んん♡



幽々子様！

幽々子様！！



うーっ♡  
うーっ♡

あーっ♡



ずっと…  
お傍に…

私を置いて  
いかないで  
下さいっ！！



私は…っ

でない  
私…っ！  
わ…っ！



幽々…♡



っ♡  
っ♡  
っ♡



……幽々子は  
果報者ね  
……妬けるわ



……



なのに  
あなたは何が  
不満なの？



魂魄家の使命が  
果たせないから？

いいえ違うわね  
貴方は――

その先は  
言わないで  
下さい……！

わたしはただ  
幽々子様のお傍に  
いたいんです！



でもわたしっ！  
このままでは幽々子様  
のお傍にいられなくなっ  
てしまいます！

怖いんです  
不甲斐ない  
私などもう……！



必要ないって  
言われるんじや  
ないかって！

……半分  
正解ね

確かにあの子が  
その気になれば  
桜の事も  
あの夜の事も  
貴方よりも上手く  
やれたでしょう



でもね……  
強い力を  
振るうのは

とても  
疲れるのよ



少なくとも——

また  
死んでしまっ  
たわ!!



かつてあの子の

私は  
何も  
誰も……

教えて……  
どう償えば  
いいの……っ

殺したく  
ないのに!!

心を壊してしまったように——



何故かしら？

ヒューン

……今の  
あの子はいつも  
楽しそうね

それは貴方が  
他の何にでもなく



妖夢であるから  
じゃないの？

え？



鈍感。

全は一なり  
一は全なり

あの子もまた  
そうだって  
ことよ



あの……  
それは……っ



わからないなら  
もう別にいいわ  
あなたに必要な  
ことは先ず学ぶ  
ことのようなね

……コレ  
もそうなの  
でしょうか？

そうよ



向夢も  
経験者



さて

こーんな所で  
良かったの  
かしら？

幽々子？

ゆっ幽々子  
様々！！



後日この事を  
霊夢に話したら

「ノロケ話をしに  
来たの？  
幽霊も暇ね」と  
と流された

あら  
おいしそうな  
羊羹ね？

神社に置いて  
あったのよ  
紫も食べたいの？

魔理沙には  
「二人に嵌められたな  
良かったじゃないか」と  
訳の解らない  
受け答えをされた



折角だけどもう  
頂いてるわ

え……？  
あ……  
紫様……？

紫様の言われたこと  
はまだよく解らない  
けれど……

あらあら紫  
それはウチの  
庭師じゃない

そう  
なら問題ない  
わねW

そう  
問題ないのよW

今日も幽々子様  
にお仕えできて  
……私は幸せです

ちよ……ちよっ  
ちよっ

幽々子様——っ！！





何故その力を  
もつと誇ら  
ないの？

なら貴方が  
奪ってくれる？

そこらの低級  
妖怪なら喉から  
手を出して欲し  
がるわよ



……もう  
貴方だけね  
妖怪さん

私の傍に  
いてくれるのは



少しは  
落ち着いた？

# サナギ

Extra episode



妖怪ですら  
私の力は容易く  
命を奪ってしまう



残念ね  
間に合って  
いるわ



人にも妖怪にも  
疎まれ恐れられ……  
私の生まれてきた  
意味って何？

ただのんびり皆で  
歌でも詠みながら  
日々をひっそりと  
重ねて行きたい  
だけなのに……

もし生まれ変われるとしたら  
そういう生活をお望み？



……できれば  
優秀な頼れる  
家来さんも  
欲しいかも

その家来は  
きつと大変ねえ

何で？

なんとなく

家来って言うて  
みてもね  
家族みたいな関係に  
なれたらいいかな

ずっと傍に  
いてくれて

いつしよに  
ご飯を食べてお花見を  
して……こうして月を  
見たり——

ごめんなさい  
ただ貴女は  
いつも突然  
だから

それは  
失礼

乙女ねえ

この私が  
側にいるのに  
ご不満なのね？



だ・っ・て・こ・ん・な  
私・だ・か・ら

そんな関係を  
築いていける  
存在を求めて  
しまうのよ

：いいわね  
悪くない  
生活だわ

その時は貴女も  
傍にいてくれな  
きゃいやよ？

約束よ？

さあどうし  
ようかしら

いじわるね

奥付け

白玉サクラガサネ

発行：サバクノサクラ  
/えるもろてい

印刷：共信印刷

発行日：2008/8/17

連絡先：jny-mik@ezweb.ne.jp

以下の行為を禁じます  
18歳未満の購入、購読  
無断転載、複製  
インターネット上でのアップロード等

『東方project』は『上海アリス幻楽団』の作品です。